

くらよし

まちづくりキャッチフレーズ **人と自然と文化がつくる「キラリと光る新中核都市」**



スポレク鳥取 2006 倉吉市種目別大会 バドミントン・ボウリング 倉吉体育文化会館・倉吉プラザボウル

10月21日(土)～24日(火)、第19回全国スポーツ・レクリエーション祭「スポレク鳥取 2006」倉吉市種目別大会が、倉吉体育文化会館(山根)では、年齢別バドミントンが、倉吉プラザボウル(伊木)では、壮年ボウリングが行われました。

バドミントン会場では、来年の開催地青森県から参加された福士文敏さんが、「倉吉は、食べ物が美味しく、時がゆるやかで、すごしやすい町です。来年は青森県でスポレクが開催されます。皆さんのおいでをお待ちしています」と倉吉の印象と来年のスポレク開催地の話をされました。

CONTENTS

- 倉吉駅周辺まちづくり構想の
進ちょく状況報告・・・2～3
- 決算の推移～打吹公園の仲間たちと
倉吉の財政を知るシリーズ……………4
- 個人住民税の今後の負担はどうなるの?・・・5
- 20歳がスタート 国民年金……………6
- スポレク鳥取 2006 /加藤伸一少年野球教室
／部落解放研究倉吉市女性集會……………7
- ハート・バリアフリー……………8
- 遥かな町へ /市議会定例会のお知らせ
／地区の話題・地域計画……………9
- 出かけてみよう!……………10～11
- インフォメーション……………12～15
- あんしんファイル……………16

くりが着々と進行中

<駅橋上化・自由通路事業の進ちょく状況について>

○今年度より、倉吉駅周辺の核となる、駅の橋上化に関する詳細設計に着手する予定です。

現在の J R コンビニエンスストアの上に南北に橋(自由通路 W=6.0m、L=50m)を架け、1階部分にある駅改札・事務所を2階に設置する計画の詳細設計の準備に入っています。

同時に北口駅前広場(約 3,000㎡)の整備計画も検討中で、いずれも、平成21年度末には、完成の予定です。

● 5月17日倉吉駅の橋上化に関する市民説明会開催

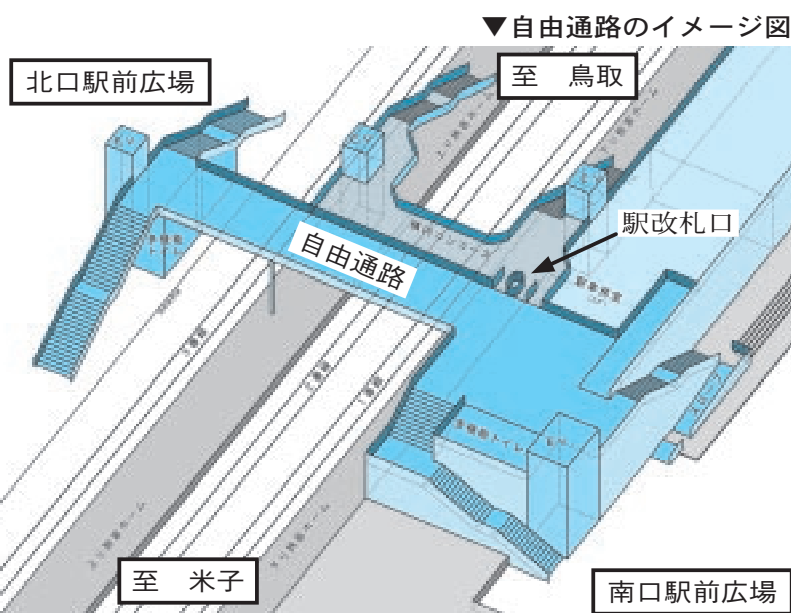
《市民の皆さんからの主なご意見》

- ①鳥取駅のように高架にしてほしい。
- ②駅橋上化計画を市民全体にもっと周知を。
- ③倉吉駅橋上化に伴う全体のデザインなどは、市民の声を反映させてほしい。
- ④エレベーターだけでなく、エスカレーターの設置を要望したい。
- ⑤駐輪場については、有料化が望ましい。
- ⑥有意義な施設の建設をしてもらいたい。

→ 高架は、諸条件で困難です。倉吉では線路上に歩行者専用通路を設け、併せてこの通路に改札などを設けるものです。

今後も計画やデザイン決定については、説明会などあらゆる機会を通して、ご理解とご協力いただけるように努め、中部の玄関口としてふさわしいものを整備していきます。

エスカレーターについては、自由通路部分に設置できるかどうか検討しています。駐輪場についても、所管の担当課で利用形態・料金などの検討を行い、放置などのない管理を考えていきます。



<区画整理事業の進ちょく状況について>

○上井羽合線沿道土地地区画整理事業につきましては、家屋の移転や造成工事および沢井手第1雨水幹線の付替工事を実施し、今年度末には、全体の事業量の約80%を完工する予定です。

区域内では、今年7月には上井公民館と児童センターを倉吉市で初めての合築型で建設、10月には、集合住宅(サンテラス大平:鉄筋コンクリート5階建18戸)が建設されました。

上井羽合線沿道土地地区画整理事業に関するご意見・ご質問をお待ちしています

倉吉市建設部 倉吉駅周辺整備事務所 〒682-0021 倉吉市上井320-11(JA河北支所2階)

TEL 26-2823 FAX 26-2831 E-mail ekishuhen@city.kurayoshi.tottori.jp

「倉吉駅周辺まちづくり構想」については、倉吉市ホームページ内にも掲載しています。ぜひご覧ください。

URL <http://www.city.kurayoshi.tottori.jp/toshikei/machi/>

賑わいのあるまちづくりにぎ

上井公民館・上井児童センター

集合住宅(サンテラス大平)



▲平成 18 年 10 月 区画整理事業進捗状況

<倉吉駅周辺まちづくり事業について>

倉吉駅周辺を県中部地区の玄関口として、良好な都市環境の整備を図る目的で、平成12年9月に学識経験者、近隣町村および関係団体の参画を得ながら「倉吉駅周辺まちづくり協議会」を設置し、平成13年12月に「倉吉駅周辺まちづくり構想」を策定しました。

この「倉吉駅周辺まちづくり構想」で、国道179号4車線化および県道上井羽合線・上井北条線・倉吉江北線の整備は鳥取県で行い、上井羽合線沿道土地区画整理事業・上井海田東町線・倉吉駅の橋上化・自由通路および北口駅前広場の整備は倉吉市で取り組み、現在、整備が順調に進められ、駅の北側地域を中心に、まちが大きく変ぼうを遂げようとしています。

●「倉吉駅周辺まちづくり構想」について

《市民の皆さんからのご意見》

《意見1》 上井踏切(神鋼前)が狭く非常に歩行者などが危険です。

→上井踏切は、県道にあることから、県にJRと協議していただいておりますが、駅構内踏切で通信ケーブルなどの施設があり、ほかの踏切に比べ改良は非常に難しいようです。ただし、倉吉駅橋上化・自由通路の設置にともない、踏切を渡る通学生が減少することから、上井踏切の混雑は緩和されます。

《意見2》 駅北口から鳥取短期大学下までの市道整備を早急に行ってもらいたい。

→区画整理区域内から東側方面に向かう現道への取付区間(約50m)については、現在施工中で平成19年中には完了予定です。その東側についてはルートなど地元との調整を図り、財政状況をみながら進めていきます。

《意見3》 八屋福庭線(福庭倉吉念法寺前)と駅北通り線(区画整理区域内)とを早急に接続してもらいたい。

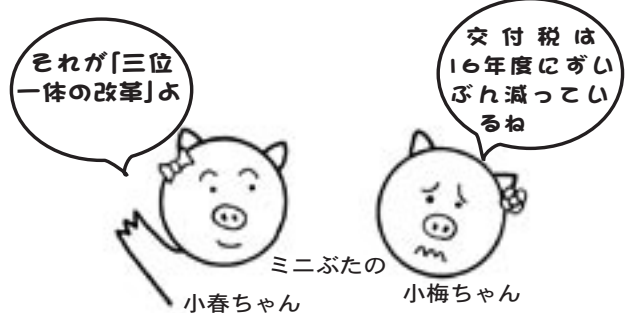
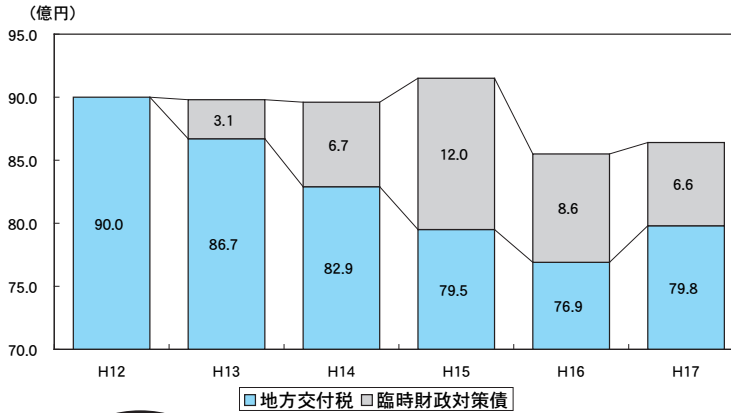
→区画整理事業の進ちょくを見ながら、年次的に施工する予定です。



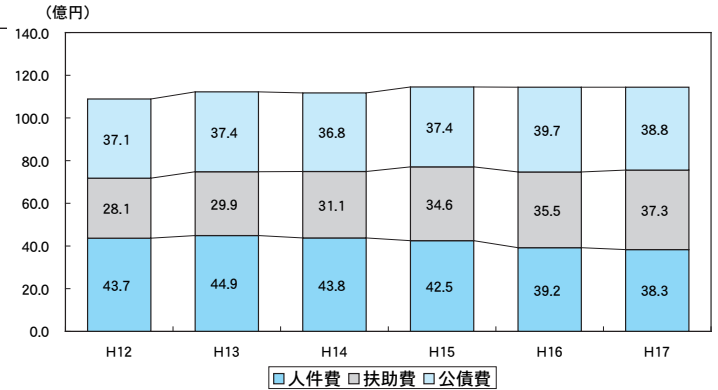
決算の推移～打吹公園の仲間たちと倉吉の財政を知るシリーズ～ 第3回

今回は、平成12年度から17年度までの決算を見てみることにしましょう。ご紹介するのは歳入、歳出の一部と基金残高です。一番上のグラフは歳入の地方交付税と臨時財政対策債です。二つの合計が平成16年度に大きく減っているのは「三位一体の改革」によるものです。上から二番目のグラフは、歳出の義務的経費と呼ばれる人件費、扶助費、公債費です。全体ではほぼ横ばいの状態になっています。次のグラフは基金の残高の推移です。16年度まで減少を続けていましたが、17年度は若者の定住化促進基金の創設があり、大きく増えました。

地方交付税等



義務的経費



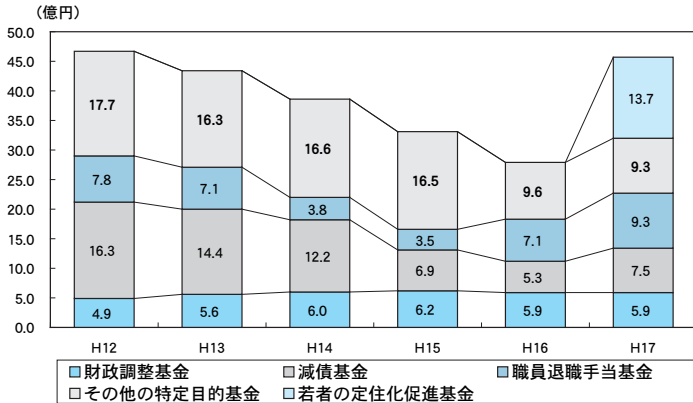
だから大きな変化がないのよ



義務的経費はどうしても必要なお金のことね



基金残高



基金残高

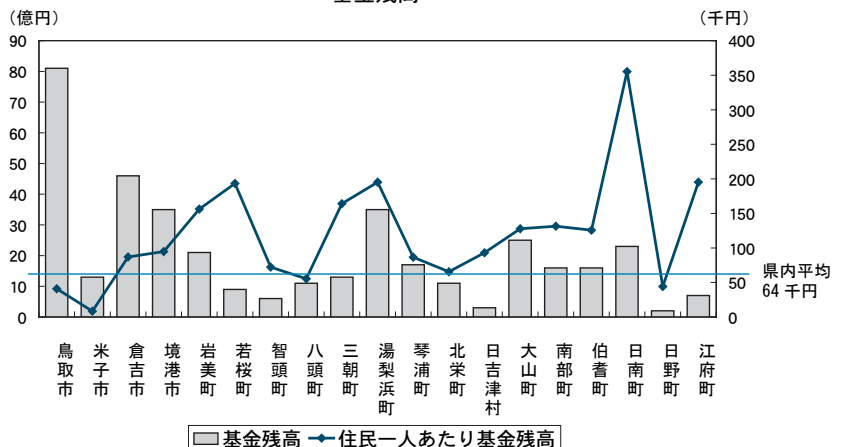


倉吉は県内平均より少し多いわ

なんだからあし、貯之もあって安心ね



ホウ



地方交付税：国が徴収し、地方に配分する地方税
 臨時財政対策債：交付税の財源不足を補うために発行する地方債

義務的経費：人件費、扶助費、公債費

人件費：報酬、給料、職員手当など職員などに対して支払われる労働の対価

扶助費：生活困窮者などに対してその生活を維持するために支出される経費

公債費：地方債の元利償還金および一時借入金利子の合計